

片山教授の退任記念号に寄せて

経済学部の片山誠一客員教授が本年3月をもって退任されることになりました。片山教授は長年神戸大学に勤務されたのち、平成19年4月に愛知学院大学商学部教授として着任されました。その後、学部再編成によって平成25年4月に新設の経済学部教授となり、平成26年4月からは経済学部客員教授として勤めを果たされました。愛知学院大学には計10年間勤務されたこととなります。

片山教授は、神戸大学に在職中の時代から国際経済学の専門家として名声を博されており、国際貿易のみならず、国際的な資源問題、知的所有権の問題等、実に幅広い分野にわたって関与されました。また、精力的に英文ペーパーを発表され、その数は膨大なものに上ります。それに加えて、海外ジャーナルの査読者や国外の大学における教授就任資格の外部審査委員等も担い、要職を多数引き受けてこられました。その縦横なご活躍には眼を見張るものがあります。

こうした研究業績に加えて、教育面でも情熱を捧げた指導に従事されました。国際経済学の講義はもちろんのこと、片山教授の温厚で度量の広い性格を慕って演習にも多数の学生が集まりました。そこから多くの俊秀が育っていったことは周知のとおりであります。さらには、教育面以外にも文部科学省や日本学術振興会を初めとした職務をこなされただけでなく、地域の行政で各種委員を引き受けるなど、社会活動の面でも多大な貢献をなされました。

平成25年に新設された経済学部から初めての退任教授をお送りすることになります。まさに経済学部の基盤を充実させるべき重要な時期に片山教授が在職され、さまざまな面で力を発揮してくださったことは特筆に値することです。経済学部はこれからいよいよ飛躍期に入っていかなければなりません。片山教授が残してくださった多くの成果を守りながらさらなる前進を遂げてまいりたいと思います。

ここに片山教授の退任記念号を刊行させていただき、教授のご功績を讃えるとともに、これまでのご尽力に対しまして心から感謝の意を表したく存じます。

平成29年9月

経済学部長 玉井金五

